

令和2年第5回臨時会

建設水道常任委員会
会 議 録

日付：令和2年10月9日（金）

場所：大曲庁舎 第3委員会室

令和2年第5回大仙市議会臨時会 建設水道常任委員会 会議録

日 時：令和2年10月9日（金曜日） 午前10時19分～午前10時42分

会 場：大曲庁舎 第3委員会室

出席委員（6人）

委員長	15番	佐藤育男	副委員長	17番	児玉裕一
委員	4番	佐藤隆盛	委員	9番	本間輝男
委員	22番	佐藤清吉	委員	26番	高橋敏英

欠席委員（0人）

遅刻委員（0人）

早退委員（0人）

説明のため出席した者

上下水道事業管理者	今野功成	建設部長	古屋利彦
道路河川課長	京野和明	道路河川課参事	北澤真
道路河川課参事	佐藤彰	西仙北・協和建設水道事務所長	加藤薫
中仙・太田建設水道事務所長	田中勲男	経営管理課長	田畑睦子
下水道課長	古屋和久		

議会事務局職員出席

参事 富樫康隆

審査議案等

第1 議案第194号 令和2年度大仙市一般会計補正予算（第12号）

第2 議案第196号 令和2年度大仙市下水道事業会計補正予算（第1号）

○委員長（佐藤育男） おはようございます。

本日は本会議休憩中のところをご出席いただき、ありがとうございます。

早速ですが、ただ今より、建設水道常任委員会を開会いたします。

それでは、当委員会に付託された事件について、別紙日程表のとおり審査いたしますので、よろしくお願いをいたします。

なお、正確な会議録の作成のため、発言をする際には、委員長の許可を得た後で、マイクのスイッチを入れてからお願いをいたします。

○委員長（佐藤育男） 審査に入る前に、当局から挨拶をお願いいたします。古屋建設部長。

○建設部長（古屋利彦） あらためまして、おはようございます。

建設水道常任委員の皆さまには、本会議休憩中のところ、常任委員会を開催いただきまして誠にありがとうございます。

はじめに、新型コロナウイルス感染予防のため、規模縮小や延期しておりました国道13号大曲・秋田間整備をはじめとする道路及び河川整備などの国会議員や各省庁への要望活動につきましては、今月以降、本格的に活動を実施する予定となっております。感染予防対策をしっかりと取りながら活動してまいりたいと考えております。

さて、本日もご審議をお願いいたします案件であります。今年度発生しました集中豪雨に対し、内水処理不能に陥った排水機場の機能強化や新設するための設計委託費、及び7月の大雨により被災した協和地域道路2路線についての補助対象分の災害復旧事業費の、合わせて2件の補正をお願いするものでございます。

詳しい内容につきまして、この後、各担当課長及び所長がご説明いたしますので、委員の皆さまにおかれましては、どうかよろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。簡単ですが挨拶とさせていただきます。

○委員長（佐藤育男） はい、ありがとうございます。

○委員長（佐藤育男） それでは、建設部所管分の審査に入ります。

議案第194号、令和2年度大仙市一般会計補正予算（第12号）を議題といたします。

当局の説明を求めます。はじめに、京野道路河川課長。

○道路河川課長（京野和明） それでは議案第194号、令和2年度大仙市一般会計補正予算（第12号）のうち、道路河川課所管分について、ご説明申し上げます。

資料ナンバー2、令和2年度補正予算書〔10月補正〕の12ページと、資料ナンバー2-1、事業説明書の9ページを併せてお開き願います。

9款 消防費、1項4目 水防費、11事業 水害対策費は、144万1千円の補正をお願いするものであり、補正後の額を824万1千円とするものであります。

このたびの補正は、7月から9月に多発した集中豪雨により浸水被害が発生した地域について、浸水被害の大きかった仙北地域の戸地谷と高梨の2カ所と大曲地域の福田町1カ所の内水排除に係る排水機施設について、ポンプ新設と能力の増強を図るため、排水機場の設計業務を実施するものでございます。

A3判の資料・道路-1をご覧ください。

排水機場の新設・増設位置と、想定されるポンプの容量及び今後のスケジュールについて記載しております。

A3縦書きの中段、位置図の左側、赤書き①が、戸地谷の^{くぼせき}窪堰川左岸、仙北自動車学校西側にあります戸地谷排水機場のポンプ増設箇所であります。

真ん中赤書き②が、福田町の同じく窪堰川右岸、戸地谷橋下流の千葉建機裏にあります戸地谷橋下流右岸排水機場のポンプ新設箇所であります。

右側赤書き③が、高梨の丸子川にある川前橋上流左岸排水機場のポンプ新設箇所であります。

各箇所の委託料は、戸地谷排水機場45万1千円、戸地谷橋下流右岸排水機場49万5千円、川前橋上流左岸排水機場49万5千円であります。

当時の浸水写真、及び各箇所の委託料や想定されるポンプの容量等については、資料下段に記載しておりますので、後ほどご確認ください。

今後のスケジュールであります。上段右側の囲みをご覧ください。

委託費の補正が成立いたしましたら速やかに詳細設計の発注を行い、12月上旬ごろまでに設計を終わらせ、費用の算定後、12月議会に工事費の補正を上程したいと考えております。

工事の発注につきましても、12月議会で補正予算が成立しましたら、令和3年1月中を目標に行う予定であり、完成は、ポンプの製作に4カ月程度要しますので、令和3年の梅雨時期前と考えております。

今後の方向性としましては、既存施設の有効活用をしつつ、能力不足箇所の機能

強化に努めてまいります。特に、神岡・後川流域、南外・檜岡川流域、西仙北・土買川流域など、国・県と併せた対策を必要とする箇所などについては、各河川管理者と綿密な調整を実施し、手戻りのない効率的な対策を進めてまいりたいと考えております。

以上、議案第194号、令和2年度大仙市一般会計補正予算（第12号）のうち、道路河川課所管分についてご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（佐藤育男） はい、ありがとうございます。

次に、加藤西仙北・協和建設水道事務所長。

○西仙北・協和建設水道事務所長（加藤 薫） それでは議案第194号、令和2年度大仙市一般会計補正予算（第12号）のうち、西仙北・協和建設水道事務所所管分について、ご説明申し上げます。

資料ナンバー2、令和2年度補正予算書〔10月補正〕の13ページ、資料ナンバー2-1、事業説明書の10ページを併せてお開き願います。

このたびの補正につきましては、令和2年7月26日から28日の豪雨により発生した市道の被災箇所について、公共土木施設災害復旧事業を活用した恒久的対策を施し、市民の安全と安心を確保するため補正をお願いするものであります。

はじめに、11款 災害復旧費、1項 公共土木施設災害復旧費、1目11事業 道路橋りょう災害復旧事業費（補助分）は、1,355万7千円の補正をお願いするものであり、補正後の額も同額であります。

補正額の財源内訳といたしまして、国庫支出金904万2千円、一般財源451万5千円であります。

事業の内容は、10月1日から2日に実施した国の災害査定の結果を踏まえて、工事請負費により協和地域の馬場・川口線と船沢5号線の早期復旧を図るものであります。

次に、A3判の資料・西協-1、1ページ目をご覧ください。

1ページ目は、全体の位置図であります。

次に、2ページ目をご覧ください。

2ページ目には、馬場・川口線の資料を載せております。左側上段は位置を示しております。右側には被災直後の写真を載せております。盛り土のり面が崩壊し、歩道アスファルト部分まで被災を受けている状況写真であります。左側下段には復旧断面を載せております。湧水が確認されていることから、暗渠とフトン籠を設置

し、盛り土で復旧する計画であります。工事請負費は1,061万2千円であります。
次に、3ページ目をご覧ください。

3ページ目は、船沢5号線の資料であります。左側上段は位置を示しております。右側には被災直後の写真を載せております。盛り土のり面が崩壊し、車道アスファルト部分まで被災を受けている状況写真であります。左側下段には復旧断面を載せております。路面排水処理と盛り土により復旧する計画であります。工事請負費は294万5千円あります。

以上、議案第194号、令和2年度大仙市一般会計補正予算(第12号)のうち、西仙北・協和建設水道事務所所管分についてご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○委員長(佐藤育男) はい、ありがとうございます。

当局の説明が終了しました。

これより、質疑を行います。質疑のある方は、お願いいたします。

はい、佐藤委員。

○委員(佐藤隆盛) ちょっと教えてもらいでも、今ごろ、こんなごとかと言うかもしれないけども、まずこの戸地谷関係とか、水害のポンプ。この委託料の設計の45万とか49万5千って、これ、どういうかたちで示して、どこで出したもんだ。この設計の。

○委員長(佐藤育男) はい、京野課長。

○道路河川課長(京野和明) この設計の委託費につきましては、大仙仙北測量設計業協会へ参考見積もりを依頼しまして、もらったものを過去の委託の事例と照らし合わせて精査を行って、私たちが使用している県単価に置き換えて委託費を算定しております。

○委員(佐藤隆盛) 委託、これな。違いもわずかだでも、これ、大体同じんだ、そのやっぱり容量とかの関係でも減って、もうちょっと違ってることだすでな。

○委員長(佐藤育男) はい、京野課長。

○道路河川課長(京野和明) 戸地谷排水機場につきましては増設ですので、若干安くなってるんですけども、戸地谷橋下流右岸排水機場とか川前橋上流左岸排水機場はどちらも同じ規模のポンプになっておりますので、ほぼ同額というかたちでございます。

○委員長(佐藤育男) はい、佐藤委員、何か。

○委員(佐藤隆盛) うん、いい、いい。まず、分かりました。

(雑談あり)

○委員長(佐藤育男) よろしいですか。

○委員(佐藤隆盛) はい、いいですよ。

○委員長(佐藤育男) はい。他にございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(佐藤育男) はい。なければ、質疑を終結いたします。

これより、討論を行います。討論はありませんか

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(佐藤育男) はい。討論なしと認めます。

これより、採決いたします。本件は原案のとおり可決することに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(佐藤育男) 異議なしと認め、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

説明員入れ替えのため、暫時休憩をいたします。

(午前10時33分 休憩)

(午前10時35分 再開)

○委員長(佐藤育男) 休憩前に引き続き、会議を開きます。

審査に入る前に、挨拶をお願いいたします。今野上下水道事業管理者。

○上下水道事業管理者(今野功成) 建設水道常任委員会委員の皆さまには、日頃から上下水道事業につきましてご指導、ご助言を賜りまして、誠にありがとうございます。

今次臨時会におきまして審査をお願いいたします案件は、大曲西根地区に整備する企業団地の汚水処理のため、管路施設の整備が必要なことから、下水道事業会計予算の補正をお願いするものであります。

この後、経営管理課長より内容を説明させていただきますので、よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願いを申し上げます。

○委員長(佐藤育男) はい、ありがとうございます。

○委員長（佐藤育男） それでは、上下水道局所管分の審査に入ります。

議案第196号、令和2年度大仙市下水道事業会計補正予算（第1号）を議題といたします。

当局の説明を求めます。田畑経営管理課長。

○経営管理課長（田畑睦子） それでは議案第196号、令和2年度大仙市下水道事業会計補正予算（第1号）について、ご説明申し上げます。

資料ナンバー2の補正予算書31ページと、資料ナンバー2-1、事業説明書の11ページ、それとお手元にお配りしておりますA3判資料・下水-1を併せてご覧をお願いします。

今回の補正予算は、新たに整備を進めている企業団地の汚水処理のため、管路施設の整備が必要なことから、建設改良費の補正をお願いするものであります。

それでは、補正予算の内容について、ご説明申し上げます。

はじめに、第2条の業務の予定量についてであります。

建設改良事業の予定量を880万円補正し、補正後の予定量を4億7,942万2千円とするものであります。

次に、第3条の資本的収入及び支出の補正であります。

資本的収入は、下水道事業債借入のため880万円の補正をお願いし、補正後の資本的収入の額を16億1,743万6千円とするものであります。

資本的支出につきましても、建設改良費に同額の880万円を補正し、補正後の資本的支出の額を25億2,778万6千円とするものであります。

この補正に伴い、「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額9億1,035万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,222万1千円、当年度分損益勘定留保資金8億8,812万9千円で補填するものとする。」に改めるものであります。

次に、第4条 企業債の補正であります。

先ほど資本的収入において補正をお願いしました企業債借入が増えたことに伴いまして、下水道事業債の限度額を2億2,560万円とするものであります。

以上、ご説明申し上げますが、よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（佐藤育男） はい、ありがとうございます。

当局の説明が終了しました。

これより、質疑を行います。質疑のある方は、お願いいたします。

ありませんか。

○委員（本間輝男） ちょっとお聞きします。

○委員長（佐藤育男） はい、本間委員。

○委員（本間輝男） 今年880万円というような、この額というのは工事費っていうことですか。

○委員長（佐藤育男） はい、田畑課長

○経営管理課長（田畑睦子） そうです、工事費です。A3判のこの資料の赤い所で示しております、ここの管路の工事費です。

○委員（本間輝男） 378メートルやって、880万円のできる工事か。深さなんぼある。

○委員長（佐藤育男） はい、古屋課長。

（雑談あり）

○委員長（佐藤育男） はい、どうぞ。

○下水道課長（古屋和久） こちらの方ですけれども、施工予定が378メートルあるということなんですけれども、こちらの方が管径が100ミリでございます。そして、深さの方が1メートル以内で掘り上げますので、予算的にはできます。浅い感じでできますので。

（雑談あり）

○委員長（佐藤育男） 本間委員、よろしいですか。

○委員（本間輝男） いいっす。

○委員長（佐藤育男） はい。他にございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（佐藤育男） はい。なければ、質疑を終結いたします。

これより、討論を行います。討論はありませんか

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（佐藤育男） はい。討論なしと認めます。

これより、採決いたします。本件は原案のとおり可決することに、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（佐藤育男） 異議なしと認め、本件は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○委員長（佐藤育男） 以上で、当委員会に審査付託となりました事件の審査は全て終了いたしました。

なお、本委員会の審査報告書及び委員長報告の案文につきましては、委員長にご一任願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（佐藤育男） 異議なしと認め、そのように決しました。

○委員長（佐藤育男） これで、建設水道常任委員会を閉会いたします。

大変お疲れさまでした。

午前10時42分 閉 会

大仙市議会委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

令和2年 月 日

大仙市議会 建設水道常任委員会委員長 佐藤育男